

特集 正しいごみの捨て方～みんなで守る美しい栗原～



私たちが生活すると、必ず出るごみ。ごみを出す前に、私たちが知っておくことは何か。今月は、ごみについて考えてみましょう。

【特集】正しいごみの捨て方～みんなで守る美しい栗原～

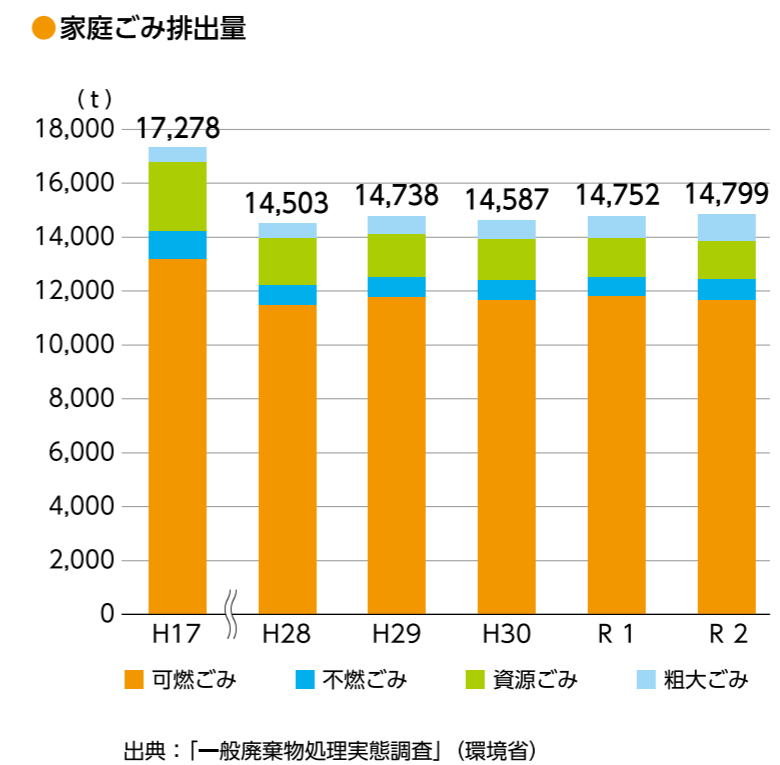


栗原のごみ どうするの？

市は、ごみ削減の身近な取り組みとして、ごみの排出を減らすリデュース、再利用するリユース、再資源化するリサイクルの3Rに、不要な物は買わないリフーズ、修理しながら使うリペアを追加し、5Rを推進しています。

5Rを推進することによって、物を大量消費するだけの使い捨て社会ではなく、限りある資源を大切に使い、環境への負担を低減する循環型社会を目指しています。

皆さんの家庭から出るごみも、一人一人の取り組み次第で大切な資源となります。ごみを減らすことは、自然豊かな市の環境を守り続けていくことにつながる、大切なことなのです。



どうなっている？ 栗原のごみ

市の人口は、年々減ってきていますが、ごみの量は変わっていません。

平成17年10月1日、市の人口は82,298人で、1人当たりの年間ごみ排出量は210キログラムでした。令和2年10月1日になると人口は66,130人、1人当たりの年間ごみ排出量は224キログラムとなり、約1万6千人減少しましたが、1人当たり14キログラム増加しています。

可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみと種類ごとの推移を比べると多少の増減はありますが、ここ数年は資源ごみの排出量が減り、粗大ごみの排出量が増えています。

可燃ごみとして捨てられているごみの中には、生ごみやプラスチック類が多く入っています。これらのごみは、身近な取り組みで、生まれ変わることができます。